

こんなことをしています。こんなところががんばっています。

地域おこし協力隊通信

長崎県立大学で 特別講義をしました

10月20日、長崎県立大学(長崎県佐世保市)で、協力隊の小楠雄士さんが経営学部の2年生から4年生を対象とした特別講義の講師として登壇しました。

講義では、小楠さんが協力隊に着任するまでのキャリアや映画『夕陽のあと』の制作過程、長島町での暮らしについて話しました。講義に先立ち、映画『夕陽のあと』の観賞会が開かれ、学生



からは「家族とは何か? 当たり前のことを考えさせられた」など、作品に対する思い思いの感想が寄せられました。

講義を終えて小楠さんは「長崎県での劇場上映はありませんでしたが、このような形で作品が少しずつ広がっていくことは喜ばしいこと。大学とは今後もご縁が続くと思いますので、定期的に取り組んでいく予定です」と意気込みました。

就学前の ご家族に向けて

協力隊の山田周さんが「就学前に家庭で大切にしたいこと」をテーマに、10月19日と20日に子育てひろば(鷹巣・獅子島)で講演会を行いました。

未就学児をもつ保護者に向けた講演会では、「子どもの備えに失敗の成功体験を」「保護者の備えに正しくほめること・正しく叱



ること」「家庭教育のプロとして」など、山田さんが教育の現場で培った家族の心構えを熱弁。子どももこれからの想う保護者たちは熱心に耳を傾けていました。

お知らせをデザイン

役場町民保健課が配布する特定健診後のお知らせチラシ『特定健診の「結果」から見えること』を協力隊の江副佑輔さんが制作しました。町の健康促進の一助に、チラシは特定健診の受診者に配布されます。

